

丹波篠山ふるさと応援寄付金活用事業 SASAYAMA 2020  
第2回篠山市民ホッケー交流大会開催要項

- 1 目的 東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機に全国的にスポーツへの関心が高まる中、篠山市における生涯スポーツのさらなる推進を図ることを目的に開催します。  
特に、オリンピック選手輩出が期待されるホッケーを本市の重点競技と位置づけ、競技の理解と普及を推進するとともに、ライフステージに応じた自発的なスポーツ活動の創出を目指します。
- 2 主催 篠山市教育委員会
- 3 協力 兵庫県ホッケー協会、篠山市ホッケー協会、篠山市スポーツ少年団
- 4 開催日時 平成28年9月4日（日） 午前9時15分 チーム代表者会議  
午前9時30分 開会式  
競技終了は午後4時頃を予定していますが、申込数に応じて変更となる場合があります。
- 5 会場 篠山市立篠山総合スポーツセンター 人工芝グラウンド  
(篠山市郡家451-4 電話079-552-8681)
- 6 競技規則 2016年度（公社）日本ホッケー協会6人制競技規則に準拠します。  
ただし、別に定める本大会特別ルールを適用します。
- 7 参加資格 市内外を問わず、どなたでも参加可とします。  
1チームあたりの人数は、代表者（連絡先）1名・選手4～8名とします。  
性別、年齢は問いません。  
1名の選手が複数チームで出場することはできません。
- 8 参加料 無料
- 9 申込 「第2回篠山市民わくわくホッケー交流大会参加申込書」に必要事項を記入し、平成28年8月23日（火）までに大会事務局へお申し込みください。
- 10 用具 インドアホッケースティック及びボールを使用します。  
スティック、ボールは主催者が準備し、当日貸し出します。  
帽子、すねあて、マウスピース、グローブ等の着用は義務付けませんが、安全のため着用されることを推奨します。

- 1 1 競技方法 予選リーグ後、決勝リーグ（またはトーナメント）により順位を決定します。  
競技日程等に余裕がある場合には、決勝リーグ（またはトーナメント）進出のないチームによる交流試合も実施する予定です。
- 1 2 組合せ等 競技日程・組合せ等の競技運営については、申込チーム数に応じて主催者で決定し、大会前に参加申込書記載のチーム連絡先へメールでお知らせします。
- 1 3 表 彰 優勝、準優勝、第3位のチームに賞状を授与します。
- 1 4 競技運営 審判・記録等の競技運営上必要な役割は、出場チームに割り当てる場合がありますので、ご協力をお願いいたします。  
審判・記録の割当は競技日程・組合せと同時に各チームに連絡します。審判・記録の割当のあるチームは、ホイッスル・ストップウォッチをご持参ください。
- 1 5 その他 (1) 参加者は傷害保険に加入してください。万が一、負傷等の事故が発生した場合、大会本部にて簡易な処置は行いますが、その後の治療等については各選手及び各チームの責任において行ってください。  
(2) 競技参加に際しては、各選手または各チームにおいて十分な水分補給を行ってください。また、昼食は各自または各チームで準備してください。  
(3) 気象状況等の理由により大会内容を変更または中止する場合があります。事前にお知らせする競技日程・組合せ等について急遽変更や中止がある場合は、参加申込書記載のチーム連絡先に連絡します。  
(4) 大会の映像・写真・記事・結果等が、新聞・インターネット等に掲載される場合があります。その掲載権は主催者に属します。  
(5) 篠山総合スポーツセンター駐車場が満車の場合、兵庫県篠山庁舎駐車場をご利用ください。路上駐車はご遠慮ください。  
(6) その他大会運営に係る疑義が発生した場合は、大会本部にて決定します。
- 1 6 大会事務局 篠山市教育委員会 社会教育文化財課 社会体育係  
〒669-2397 篠山市北新町4-1  
担当 岡花 宏明 電話 079-552-5769 FAX 079-552-8015  
メール okahana-hiroaki@gw.city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山ふるさと応援寄付金活用事業 SASAYAMA 2020  
第2回篠山市民ホッケー交流大会 特別ルール

- 1 試合時間 1 試合あたりの試合時間は、8分とします。
- 2 フィールド フィールドは、縦30m×横22.9mとします。  
シューティングサークルはバックラインの中央を起点とする半径11mの半円とします。
- 3 出場人数 同時にプレーできる1チームあたりの選手人数は4名とします。  
ただし、小学生以下の選手または女子選手が複数出場する時間帯については、次の出場人数を上限とします。

小学生以下の選手 または女子選手の出場人数	左記の場合に適用される 当該チーム出場人数の上限
2名	5名
3名以上	6名

なお、ゴールキーパーの配置は必須ではありません。ゴールキーパーの権利行使をしようとする場合、当該選手はヘルメット、プロテクター、グローブ、レガード等を着用するものとします。

- 4 再開プレー 再開プレー時の4mルールは、すべて3mに読み替えます。  
12mフリーヒットは、11mフリーヒットに読み替えます。  
コーナーの開始位置は、当該エリアのバックラインから14mの位置とします。
- 5 P C ペナルティコーナーにおいて自陣バックライン外側からプレーを開始できる守備側選手はゴールキーパーを含め2名とします。残り3～4名の守備側選手は、ペナルティコーナーを実施しない側のシューティングサークル内からプレーを開始するものとします。
- 6 プレー制限 より安全に配慮し、次のプレーは禁止するものとし、当該行為が実施された場合は反則と判定します。
- ・スweepヒットを除くすべてのヒットストローク
  - ・スティックのヘッドの位置を肩の高さより上に振り上げるすべてのプレー
  - ・ボールの高さがバックボードの高さを超えるシュート

- 7 服 装 ユニフォームは、シャツのみ識別のできる同一色等（ビブス可、ゴールキーパーは別色）であることとし、パンツ・ソックス等は異なるものでも可とします。また、背番号の表示、キャプテンの識別表示は不要とします。
- 8 順位決定 リーグ戦を実施する場合のリーグ順位決定は次の手順で行います。  
（1）勝ち点（勝3・分1・敗0） （2）得失点差 （3）総得点  
（4）当該チーム同士の試合結果 （5）じゃんけん ※次試合に関わる場合のみ実施
- 9 勝敗決定 リーグ戦でない試合において、同点により試合時間内に勝敗が決しない場合、ゴールデンゴール方式（先に得点したチームの勝利）による延長戦を実施します。
- 10 その他 上記に記載のないことで大会運営上疑義が生じる場合には主催者で協議・決定することとします。